

# 2015年9月12日(土曜日)の下野新聞に 茨城県の支援について紹介されました

2015年(平成27年)9月12日(土曜日)

下野新聞

## 茨城の被災者に パンの缶詰送る

那須塩原のアキモト

甚大な洪水被害が出た茨城県常総市に向け、パン・アキモト(那須塩原市東小屋、秋元義彦社長)は11日、自社のパンの缶詰を使った救援活動を始めた。

この日は宇都宮市のJA全農栃木の協力で、同市内の倉庫で防災備蓄していたパンの缶詰300ケース(7200食)を回収し、トラックで同社社員が被災地の運送会社まで運んだ。

パンの缶詰は3年の賞味期限があり、同社は購入者から賞味期限前に回収し国際的な飢餓救済活動等に役立てる「救缶鳥プロジェクト」を主導している。

趣旨に賛同している全国



トラックに積み込まれる「パンの缶詰」=11日午後、宇都宮市上桑島町

の利用者に茨城の被災地への救援を呼び掛け、県内ではまず全農栃木が、来年3月が賞味期限の同団体オリジナルラベルの「とちおとめ味」のパンの缶詰を前倒しして提供した。

全農栃木の担当課長(51)は「被災地で有効に活用してもらえてよかった」と話した。

同社はこの日朝には自分分としてパンの缶詰や焼きたてのパンなど2千食を被災地に送っている。